

令和6年度都立大島海洋国際高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
英語	深い学びを導く指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・科目の特性や生徒の習熟度に合わせ、教科書指導のプリント類を作成する。 ・教科書および付属指導教材・ソフトウェアの機能を十分に活用し4つの技能を多角的に指導する。 ・学習したことがらについて理解したことを日本語や英語で確認したり、互いに意見を伝え合ったり、発表したりして考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも英語コミュニケーションで1年に1回以上調べ学習やプレゼンテーションを行う。 ・1学年はJET/ALTとのTTを実施し、体験的に学ぶ機会を設ける。 ・2学年はオンライン英会話を実施し、日頃の学びを活用する機会を設ける。 ・3学年は英作文とその内容のプレゼンテーションを複数回実施し、これまでの英語学習事項の活用を図る。
地歴公民	地理・歴史・公民の知識を用いた社会事象の検討	社会事象について地理・歴史・公民の各知識を用いて理解・解説を試みる。	社会事象の社会的意義について議論を行う。
国語	情報の扱い方に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出すことで話を理解したり、発信したい情報を様々な手段で表現できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のみならず、新聞などの様々な媒体を使用しながら、小論文や自分の意見を発表するプレゼンテーション資料を作成する時間を設定する。 ・大学等主催の俳句・短歌コンテストへの応募
数学	数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる課題を設定する。 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業展開を行い、併せて基本問題を精選する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展問題を授業で積極的に取り入れ、問題解決の過程で数学的な考察を深める態度を評価する。 ・数学的な見方・考え方を使って意見を述べる場面を設定する。
理科	自然の事物・事象を科学的に探究するために必要な学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察、授業時の発問を通して思考力を向上させる。 ・実験報告書の作成を通して、科学的な原理や専門用語等の理解を深め、知識を定着させる。 ・共通テストを視野に入れた問題に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理系大学の入試問題研究を行い、授業での教材選定や問題演習及び講習内容に反映させ生徒の応用力を培う。